

地球研サテライト・シンポジウム 「世界遺産・人・水」

会場：地球研講演室

日時：平成 18 年 11 月 9 日（木）10:30～17:30

◆開会の辞

10:30—10:40

秋道 智彌（総合地球環境学研究所・教授）

◆第 1 セッション：自然遺産と水問題

座長：池谷 和信（国立民族学博物館・助教授）

10:40—11:00 知床の海に生きる哺乳類

宇仁 義和（東京農業大学・助教授）

キーワード：海生哺乳類・漁業・海域保護区・歴史的な自然

11:00—11:20 白神山地の水と人

牧田 肇（白神マタギ舎）

キーワード：地すべり、多降水、「湧き壺」、ダム

11:20—11:40 植物の宝庫・屋久島：水と巨木の島

湯本 貴和（総合地球環境学研究所・教授）

キーワード：降水量・固有種・垂直分布・琉球弧

◆第 2 セッション：文化遺産と水問題

座長：野中健一（総合地球環境学研究所・助教授）

13:00—13:20 大きな農家の堅い豆腐：白川郷・五箇山の合掌造り集落景観の成立を考える

内山 純蔵（総合地球環境学研究所・助教授）

キーワード：景観、豪雪地帯、内海、武器工場、堅豆腐

13:20—13:40 上賀茂神社と水：今も生きている文化遺産

村松 晃男（賀茂別雷神社（上賀茂神社）権祢宜）

キーワード：雷神、川、禊ぎ、京都

13:40—14:00 熊野の風水と神々

目崎 茂和（南山大学・総合政策学部・教授）

キーワード：風水、水景観、神話、世界遺産

14:00—14:20 首里城と水（仮題）

波照間 永吉（沖縄県立芸術大学・教授）

キーワード：

◆第3セッション：アジアの世界遺産と水問題

座長：ジャーヌ・コビー（フランス人間科学研究所・研究員）

15:00－15:20 中国雲南省「三江並流」地域：限界地の生活と水資源

阿部 健一（京都大学・助教授）

キーワード：生活と生業・生態移民・水資源・貧困緩和・ダム建設

15:20－15:40 フィリピン・コルディリエラの棚田群の危機と灌漑管理

大西 秀之（総合地球環境学研究所・プロジェクト研究員）

キーワード：景観、危機遺産、水利組織、人口流失

15:40－16:00 用水文化、公共財、そして地下水：済州島地下水開発の反生態性を中心に

全 京 秀（ソウル大学・教授）

キーワード：用水文化、公共財、地下水開発、済州島

16:00－16:20 雲南麗江地区の水環境に関する社会学的考察：地域社会が抜けつつある世界文化遺産の麗江古城

朱 安新（名古屋大学大学院環境学研究科・研究員（兼）愛知大学国際中国学研究センター・COEプログラム助手）

キーワード：環境、水、地域社会

16:20－16:40 東南アジア古代文明のなかでの水：ワット・プー、アンコール・ワット、東ジャワ

新田 栄治（鹿児島大学法文学部・教授）

キーワード：アニミズム、ヒンドウー教、山岳信仰、半乾燥地

◆総合討論

16:40－17:30

座長：秋道 智彌（総合地球環境学研究所・教授）



越中五箇山



白神山地



知床半島



屋久島



首里城



上賀茂神社



熊野



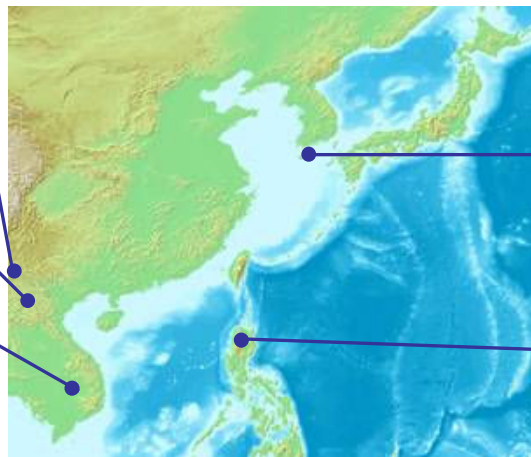
麗江(中国)



三江並流(中国)



ワット・プー(ラオス)



済州島(韓国)



コルディエラ棚田群(フィリピン)